

ワクチン接種間隔のルール変更！

今月（令和2年10月1日）からワクチンの接種間隔が緩和されました。

- ① **生ワクチン同士**（BCG, MR（麻疹・風疹）、水痘、おたふくかぜ（任意））は27日（4週間）以上あけての接種は変わりません。
- ② **それ以外の異なる種類のワクチン同士の組み合わせは、特に日数は気にせず接種可能です。**（例えば日本脳炎とインフルエンザなど）
- ③ **同じ種類のワクチンの間隔は決められた期間を開けて、これまで通り接種します。**（例えばヒブワクチンの1回目と2回目など）
- ④ **同時接種はこれまで通り可能です。注意したいのは同時接種しない場合の間隔です。**

例

0歳児で生ワクチンのBCGを接種しても他のワクチン（B型肝炎、日本脳炎、インフルエンザ）を4週間開ける必要はあり

ません。

1歳児でMR、水痘、おたふくかぜのワクチンを接種後、インフルエンザワクチンなど4週間あける必要はありません。

また、10月1日からロタウィルスワクチンが定期接種になり無料化になりました。（但し出生8月1日以降の児です。）

ロタリックス（2回接種）とロタテック（3回接種）がありますが、効果や安全性には特に違いはないようです。初回接種は生後14週6日までに行うように推奨されています。生後15週以降の初回接種は腸重積のリスクが高まると懸念されているからです。

今回の接種間隔の変更は、欧米諸国と同一にしたということですが、今までの接種間隔を順法してきた我々は実際拍子抜けしています。しかし、インフルエンザワクチンの時期に当たり、他のワクチンとの間隔を意識しなくて接種できますので朗報でした。（N. Shintani の Note を参考）（たまなは）

